

# 令和5年度 一般社団法人 長野上水内教育会 総集會要項

I 日 時 令和5年5月13日(土)

II 会 場 長野上水内教育会館 参集およびオンライン

## III 日 程

オンライン入室		8:30~8:55
来賓・参集者受付		8:35~8:45
来賓着席		8:54
開会		8:55
1 開会の辞	副会長	8:55
2 令和5年度役員紹介	会 長	8:56
3 会長挨拶	会 長	8:57
4 来賓祝辞		9:01
荻原健司長野市長 北田愛治小川村教育長 武田育夫信濃教育会長		
5 来賓紹介	副会長	9:16
	休 憩	9:20~9:30
6 講演(鼎談)		9:30~11:45

講師 こたえのない学校代表 藤原 さと 先生

上智大学教授 奈須 正裕 先生

信濃教育会会長 武田 育夫 先生

演題 「自律した学習者の育成～学びのその先へ～」

7 閉会の辞 副会長 11:50

## 講師プロフィール

### 【講演概略】 鼎 談

<藤原さと先生>

日本の教育におけるアイデンティティ形成と西欧諸国の教育におけるアイデンティティ形成の共通点と総委の視点から考えます。

<奈須正裕先生>

正解主義と同調圧力を克服し、すべての子どもを自立した学習者へと育て上げる方途の視点から考えます。

<武田育夫先生>

授業改革に取り組んでいる学校の事例紹介から、授業を変えていくためのアプローチはどうしたらよいか、何をどう変えていけばいいのか考えます。

## 【講師プロフィール】

藤原 さと先生



日本政策金融公庫にて中小企業・新規事業融資に従事後、米国留学中に国際労働機関（ILO）のマイクロファイナンス部門で少額融資のスキームを調査。帰国後、ソニー（株）本社経営企画管理・戦略部門で、海外企業との共同開発、技術・資本提携等のプロジェクトに携わる。長女出産後ヘルスケアコンサルタントとして医療機関再生、地域包括ケアシステムの構築サポート、ミャンマー保健省と協働した現地乳がん検診事業立ち上げのリード等を行う。2012年度都内区立保育園父母会長。2014年に「こたえない学校」を設立。2014年から2017年までアメリカ在住。2018年経産省「未来の教室」事業で世界屈指のプロジェクト型学習を行う米ハイ・テック・ハイの教育プログラムを日本に導入。慶應義塾大学法学部政治学科卒・米国コーネル大学大学院公共政策学修士（M. P. A.）著書に『探究する学びをつくる-社会とつながるプロジェクト型学習』（平凡社）、『ラクガキのススメ（共同執筆）』（あいり出版）

奈須 正裕先生



上智大学総合人間科学部教授  
徳島大学教育学部卒、東京大学大学院修了  
国立教育研究所室長、立教大学教授を経て現職  
専門は教育心理学、教育方法学  
中央教育審議会教育課程部会委員

武田 育夫先生



公益社団法人信濃教育会 会長  
元教員 県内中学校理科教員  
長野県教育委員会指導主事 教学指導課課長  
伊那小学校 校長 伊那中学校 校長

# 令和4年度 長野上水内教育会 事業報告

1 会員数 1,466名 (R4.4.22現在)

## 2 役職員

- (1) 顧問 海沼 敦
- (2) 会長 (代表理事) 永井克昌
- (3) 副会長 (業務執行理事) 神頭久典 宮澤俊充
- (4) 理事 中沢英明 小池 勲 小林正宣 桂本久美子 島立仁美  
馬場広一 大田裕一
- (5) 監事 駒津美恵 加藤善彦 伊賀千冬
- (6) 常任委員 藤松隆雄 高橋宏和 山森俊浩 原 毅 戸谷明子  
河西哲也 山下由紀子
- (7) 幹事長 田原克彦
- (8) 幹事 霜田里美 竹腰益臣 武内 裕 永井宏樹 佐藤俊彦  
清水秀昭 平井八重子 村上晃司 角 正行 野田俊司  
鈴木亜希子 山岸ともみ 西澤直樹 佐藤恵美
- (9) 事務職員 田川昌彦 山岸千賀子 諸岡治子
- (10) 信濃教育会関係役員  
常任委員 永井克昌 神頭久典  
代議員 海沼 敦 田原克彦 宮澤俊充 野口茂雄 小池 勲  
高橋宏和 山下由紀子  
補欠員 加藤善彦

## 3 会議

- (1) 総会 5回
- (2) 役員会 理事会 10回 常任委員会 9回 支会連絡会 2回  
幹事会 12回 監査会 1回

## 4 事業の概要

### (1) 研究調査事業

「語り合おう 深めよう 広げよう」をスローガンとして、教職員のライフステージに応じた3つの部門を設け、会員が身近な教育課題についての研究や現下の教育課題や学校現場の喫緊の課題に応えるための研究を行う。市教育センター研究委員会との共同研究を進め、委員の力量向上を図る。教科研究部は、1委員会7名程度の委員とし、原則全員が授業公開を行う。

- ① 教師力向上部 授業づくりの課題や悩み、工夫や喜びを語り合える場 (4委員会)  
・塾企画運営・研修企画運営・楽しい授業と学級づくり・わかる授業と学級づくり
- ② 教科研究部 授業を通して、教師の指導力向上に向けた実践研究の場 (13委員会)  
・国語・社会・算数数学・理科・生活科・総合的な学習・音楽・図工・美術  
・体育・保健体育・家庭科・技術家庭科・外国語活動・英語・道徳教育・特別活動  
・特別支援教育

- ③ 特別企画部 学習教材の開発、教育会や地域を調査し伝える研究の場（10委員会）
- ・デジタル広報・科学展・図工美術展・書写書道展・教材データベース
  - ・地図作成・社会科資料作成・会報編集・会誌編集・教育会沿革史

(2) 講演講習事業

- ① 総集会 5月14日(土) 参加者数 621名
- ・開催方法(会場): オンラインと教育会館参集のハイブリッド開催
  - ・講師: スピードスケート選手 小平奈緒さん  
ファシリテーター: 信州大学教育学部教授 結城 匡啓先生
  - ・演題: 「成し遂げることはできずとも、自分なりにやり遂げる」
- ② 講師研修会 信州教師塾B(信濃教育会と共催) オンライン開催
- 第1回 5月20日(金) 講師: 信濃教育会長 武田育夫先生 参加者 41名
- 第2回 11月14日(月) 参加者数 18名  
講師: 箕輪町社会福祉協議会 西澤智美さん  
信州ライフキャリア研究所キャリアカウンセラー 土肥俊さん  
北信教育事務所学校教育課SSW 宮寄貞子さん
- 第3回 1月20日(金) 参加者数 48名  
講師: 伊那市社会福祉協議会 原智美さん bパレット 織部郁代さん  
信州ライフキャリア研究所代表 折山旭さん 葉原直美さん  
信濃毎日新聞読者センター次長 山崎文智さん
- ③ 初任者研修会 (市教委と共催) 4月12日(火) オンライン 参加者数 69名
- ④ 夏季大学 7月28日(木)~8月1日(月) 1~4講座 教育会館よりオンライン
- ・7月28日 第1講座 (科学) 講師 JAXA 宇宙科学研究所研究開発員 澤田弘崇先生  
演題「小惑星探査機“はやぶさ2”6年の軌跡と  
将来のサンプルリターンミッション」 参加者数 562名
  - ・7月28日 第2講座 (教育) 講師 大阪多様性教育ネットワーク共同代表 土田光子先生  
演題「子どもを見る眼~同和教育に取り組むことの意義~」 参加者数 196名
  - ・8月1日 第3講座 (芸術) 講師 すみだ北斎美術館館長 橋本光明先生  
演題「逆境こそ人あり、創造あり~葛飾北斎の生き方に迫る~」 参加者数 189名
  - ・8月1日 第4講座 (哲学・宗教) 講師 哲学者 岸見一郎先生  
演題「生きる勇気~生きる勇気を取り戻すために人は何ができるか~」 参加者数 182名
  - ・7月31日 第5講座 講師 元長野県立歴史館総合情報課長 宮下健司先生  
テーマ「一茶俳句を味わいながら巡る丹波島宿と善光寺周辺」 参加者数 48名
  - ・7月31日 第6講座 講師 県立大学グローバルマネジメント学部教授 馬場智一先生  
テーマ「芸術体験と哲学対話」 参加者数 47名
  - ・7月31日 第7講座 講師 戸隠地質化石博物館館長補佐 田辺智隆先生  
テーマ「長野の大地の生い立ちを知る~地質や化石、石ころに学ぼう~」 参加者数 31名
  - ・7月31日 第8講座 講師 真田宝物館学芸員 降幡浩樹先生  
松代文化財ボランティア 徳嵩雄司先生 参加者数 55名  
テーマ「城下町松代を巡るIV~真田信之松代入部400年~」
  - ・7月31日 第9講座 講師 野尻湖ナウマンゾウ博物館館長 近藤洋一先生  
テーマ「野尻湖の成因と断層地形から防災を考える」 参加者数 38名
  - ・7月31日 音楽の夕べ 講師 ピアノ de カンタービレ GOKU 若里市民文化ホール

テーマ「ベートーベン生誕250年～演奏と語りで綴る音楽物語」 参加者数 271名

- ⑤ 教育懇談会 8月6日(土) 長野上水内教育会館よりオンライン 参加者数 350名  
講師：軽井沢風越学園校長 岩瀬 直樹先生

演題「軽井沢風越学園の挑戦といま～未来の学校のかたちを考える～」

近況報告 神明小学校校長 中澤俊喜先生 塩尻小学校教頭 檀原美江子先生

- ⑥ 冬季大学 9月～2月

これまで行われてきた同好会の講演会や、特別企画部塾企画運営委員会・研修企画運営委員会の研修講座等をパッケージ化して会員に広く広報することにより、後期の教育会活動や同好会活動の活性化を図る。

<塾企画運営委員会>

第1回共育塾 9月16日(金) オンライン開催

5人の実践者の発表 分科会ごとの情報交換 参加者数 60名

第2回共育塾 11月23日(祝) オンライン開催

講師 信州大学教育学部附属次世代型学び研究開発センター 佐藤和紀先生

全体講座佐藤先生の基調講演と6つの分散講座 参加者数 61名

<研修企画運営委員会>

「ドキドキ・ひらめき お絵描きライブ」 10月29日(土) 松代 参加数 26名

講師 TOMOYAART (鶴田智也) 先生

- ⑦ 哲学対話 2月18日(土) 教育会館参集およびオンライン

講師 東京大学大学院教授 梶谷真司先生

演題「哲学対話とは何か」 講演と演習 参加者数 80名

### (3) 研修助成事業

#### ① 研修補助

- ・個人・グループ研修補助 前期32本 後期28本 計60本
- ・同好会補助 21同好会
- ・同好会講演会補助 カウンセリング・集団づくり同好会 河村茂雄先生講演会
- ・支会活動補助 7支会
- ・研究団体補助 科学展、図工美術展、書写書道展、今を生きる子どもの絵展

#### ② 会誌「長野上水内教育」第14集発行

#### ③ 各種研修補助報告書 第13集発行

### (4) 教育図書研究調査事業

#### ① 社会科資料集作成 わたくしたちの郷土

#### ② 地図作成

#### ③ 郷土データベース 各種資料を教材データベースとしてHPに掲載

#### ④ デジタル広報 長野上水内教育会HPをリニューアル

### (5) 生涯学習支援事業

- ・施設貸与

令和4年度収支決算の概要

	科目	内容	決算額 (円)
経常収益A	受取会費	会費等	32,987,537
	事業収益	会館使用料 印税等	1,271,194
	受取補助金	更級教育館維持管理 市町村教委等	1,806,120
	受取負担金	雑誌取扱手数料	163,715
	雑収益	預金利子 電柱敷地使用料等	74,761
	経常収益合計		36,303,327
経常費用B	研究調査費	研究委員会旅費 諸謝金 賃借料 等	1,099,160
	講演講習会費	夏季大学 総集会 哲学講演会 等	3,554,810
	研修助成費	個人グループ研修補助 同好会補助等	5,193,644
	会誌等発行費	会誌 研修報告書 沿革史 等	1,128,660
	教育図書研究調査費	社会科資料等 委員会旅費	162,860
	事業共通費	事務局給料手当 退職給付引当金 会議旅費 減価償却費 備品費 消耗品費 修繕費 委託費 光熱水道諸費 租税公課 保険料 賃借料 等	12,678,600
	管理費	会議費 会報発行費 事務費 等	11,038,987
	経常費用合計		34,856,721
財産額	当期経常増減額	A-B = 当期一般正味財産増減額	1,446,606
	一般正味財産期首残高		209,975,926
	一般正味財産期末残高		211,422,532

令和4年度事業報告ならびに収支決算書については、4月14日（金）に行われた第1回総会で承認されています。詳細は各校代議員がお持ちの「令和4年度事業報告」「令和4年度収支決算書」をご覧ください。なお、収支決算書は、4月6日（木）に行われた会計監査会において監査を受け、監査報告についても第1回総会の場で承認を受けています。

# 令和5年度 一般社団法人 長野上水内教育会事業計画

1 会員数 1,462名 (R5.4.14現在)

2 役職員

- (1) 顧問 永井克昌
- (2) 会長(代表理事) 野口茂雄
- (3) 副会長(業務執行理事) 田原克彦 平井八重子
- (4) 理事 松島良次 長井裕之 清水克則 桂本久美子 宮本由希子  
馬場広一 大田裕一
- (6) 監事 駒津美恵 加藤好章 伊賀千冬
- (7) 常任委員 丸山真弘 後藤真道 嶋田勝彦 小林浩一 宮尾昭広  
片山ますみ 宮崎桂子
- (8) 幹事長 霜田里美
- (9) 幹事 寺島 努 小林和子 西沢和彦 清水秀昭 佐藤俊彦  
竹腰益臣 今田利弘 村上晃司 矢沢 剛 野田俊司  
栗林えり子 大橋あゆみ 西澤直樹 佐藤恵美
- (10) 事務局 田川昌彦 神頭久典 諸岡治子
- (11) 信濃教育会関係役員  
常任委員 野口茂雄 田原克彦  
代議員 永井克昌  
  
補欠員 丸山真弘

## I 基本方針

### 一 教育を取り巻く状況と課題

#### (1) 状況

- ① 個人や社会の well-being や持続可能な成長発展を目標とする動き
- ② 急速な技術革新に伴う IoT や AI の進歩による society5.0 時代の到来
- ③ 多様な子どもたちの資質・能力の育成への要請
- ④ 人口減少・少子高齢化に伴う児童生徒数の減少、教職希望者数の減少

#### (2) 課題

- ① 予測困難な時代(VUCA の時代)に対応した教育の実現
- ② 多様化する児童生徒への対応(個別最適な学びと協働的な学びの充実、特別な教育支援を必要とする児童生徒への対応等)
- ③ 学校における働き方改革と人材育成

### 二 事業推進の基本

#### 1 教育会の主題

「自律した学習者の育成～学びのその先へ～」

#### 2 運営の基本方針 <自ら求め 人を知り 人とつながり 学び続ける>

- (1) 定款第2章に定める長野上水内教育会の目的及び事業に基づき、職能団体として機

能を十分に発揮し、その実現を期する。

- (2) 教職が創造的で魅力ある仕事であることが再認識され、教師自身が士気を高め誇りを持って働くことができるよう、新時代の学びを先取するとともに働き方改革の実現を図り、未来の長野上水内教育を背負っていく人材を育成する。

### 3 運営の重点

#### (1) 研究委員会・同好会の充実

- ① 教科研究部の1委員会を原則6名程度の構成としたり、市教育センター研究委員会との共同研究を進めたりすることにより、委員会活動の質の向上を図る。
- ② 研究委員（教科研究部）は原則全員授業公開を行い、多くの会員が学び合う場とする。
- ③ 教師力向上部の一層の充実を図る。中堅・中核教員が、互いの教育観を語り合い、深め合ったり、自由な発想で冬季大学の講座の企画・運営に参画したり、青年教師が授業改善のためのより専門的なアドバイスを受ける機会とするなど教師としての力量を高め、互いの絆を深められるようにする。
- ④ 研究委員会において、特別支援学校の世話係や委員の委嘱を進める。
- ⑤ 可能な範囲で有識者や、市・県の指導主事を招聘したり、(株)柏与や信教印刷の専門家に助言を求めながら、研究委員会の活動を推進する。
- ⑥ 同好会実務担当者会を実施し、冬季大学やわくわくリーダーズながのの企画やHPでの研修・講演会の発信等を通して、同好会との連携をさらに進める。

#### (2) 主体的で魅力ある事業の推進

- ① 市・県教育委員会と連携し、初任者研修会、夏季大学、冬季大学等の教育会の研修を、法定研修の校外研修に位置づけ、会員が研修記録(履歴)として蓄積できるようにする。
- ② 教育会初任者研修会を市教育センターと協働して開催する。
- ③ 一流講師の招聘による魅力ある研修内容、オンラインの活用、広報活動の推進により、会員が年間を通じて主体的に学べる場となるよう、諸事業のさらなる充実を図る。

#### (3) ICTの積極的で効果的な活用

- ① コロナ下での経験を生かし、今後もオンラインと参集のハイブリッドによる事業運営を継続する。
- ② ホームページを通して、教育会の様々な取り組みを発信するとともに、長野市ポータルサイトとのリンクや、市教育センターとのバナー共有等、会員相互の情報共有の場となるよう、利用促進を図る。また、連絡ツール「スクリレ」を通じて、HP利用の定着を図る。
- ③ Zoom、MAXHUBの活用によるオンライン研修や会合(アカウント貸与)、公式YouTubeチャンネルによる動画配信、Google form・QRコードの活用によるアンケートや研修申し込み、Google driveによる文書・写真等の保存・引継ぎ等、ICTを活用した事業運営を推進するとともに、ICT技能の普及・継承を図る。



#### (4) 地域、企業、市民との協働

- ① 学校教育と家庭教育及び社会教育、企業との連携を深めるため、児童生徒・保護者の参加など地域に開かれた講演講習事業、生涯学習への配慮等に力を入れる。
- ② 「わくわくリーダーズながの」を市教育委員会との共催で、「生徒会サミット」を中学校長会との共催で実施し、児童生徒が学校を越えてつながり、地域に学び、地域に発信する場づくりを行う。
- ③ 参加募集などの乗り入れなど県シニア大学・郡市P連・賛助会・退職校長会等と連携を図る。
- ④ 信濃教育会、他郡市教育会等との懇談会を通して今後の教育会の在り方について検討する。
- ⑤ 積極的な会議室貸与により一般社団法人としての公益性を担保し教育会収入の安定化を図る。

## II 事業内容

### 一 人材育成及び人材育成支援事業

#### 1 研究調査事業

##### (1) 研究委員会

「語り合おう 深めよう 広げよう」をスローガンとして、教職員のライフステージに応じた3つの部門を設け、会員が身近な教育課題についての研究や現下の教育課題や学校現場の喫緊の課題に応えるための研究を行う。市教育センター研究委員会との共同研究を進め、委員の力量 向上を図る。教科研究部は、1委員会6名程度の委員とし、原則全員が授業公開を行う。

- ① 教師力向上部 授業づくりの課題や悩み、工夫や喜びを語り合う場（4委員会）  
・ 共育塾企画運営・エデュケーションオンラインカフェ長野上水内・楽しい授業と学級づくり・わかる授業と学級づくり
  - ② 教科研究部 授業を通して教師の指導力向上に向けた実践研究の場（13委員会）  
・ 国語・社会・算数数学・理科・生活科／総合的な学習・音楽・図工／美術  
・ 体育／保健体育・家庭科／技術家庭科・外国語活動／英語・道徳教育  
・ 特別活動・特別支援教育
  - ③ 特別企画部 学習教材の開発、教育会や地域を調査・伝承研究の場（10委員会）  
・ デジタル広報・科学展・図工美術展・書写書道展・教材データベース  
・ 地図作成・社会科資料作成・会報編集・会誌編集・教育会沿革史
- ※ 教科等研究委員会については、同好会活動の活性化支援のため、同好会による教科等研究委員会への自己推薦制度(団体自己推薦)を引き続き取り入れる。
- ※ 年度末に研究のまとめをHPに掲載して発信することにより、全会員とその成果を共有する。
- ※ 国語、社会科、算数/数学、理科、外国語活動/英語、体育/保健体育、道徳の7委員会は、長野市教育センターの研究委員会との共同研究を行う。

##### (2) 研究調査・実践研究の方向性や基本計画等を話し合う。

- ①研究委員会世話係会
- ②研究委員長会
- ③研究総委員会

## 2 講演講習事業

### (1) 総集会

長野上水内教育会の主題「自律した学習者の育成～学びのその先へ～」の実現に向け、会員の職能向上に係る研修の場として内容の充実を図る。講演会については、マスコミ等にも依頼して参加を広く一般にも呼びかけ、共に研修することを通して教職員や教育会への信頼を高める。

① 期日 5月13日(土) 午前

② 開催方法 オンラインと長水教育会館参集のハイブリッド開催

③ 内容

- ・講演 講師：こたえのない学校代表 藤原さと 氏  
上智大学教授 奈須正裕 氏  
信濃教育会会長 武田育夫 氏

演題「自律した学習者の育成～学びのその先へ～」

(2) 講師研修会 5月19日(金) 11月13日(月) の3回

研修機会の少ない常勤講師、非常勤講師、支援員等について、教師としてのあり方を学び、研鑽を積む機会を確保するとともに、学校を超えたつながりをもつ場とする。

(3) 初任者研修会 4月11日(火)

長野市初任者研修会と協働して実施する。上水内の先生方も参加する。長野上水内教育会・信濃教育会についての理解を深めるとともに、教師としての自覚と意欲を高める研修の場とする。

(4) 夏季大学 7月28日(金)～8月1日(火)

教師としての生き方の根幹を問い、教師としての専門性(授業力の基礎)を磨くとともに、人間性の向上を図る。会員以外の教職員や一般の参加も募り、地域ともども生涯学習の機会とする。宗教・哲学、科学、芸術、教育、歴史等の9講座と演劇の夕べを開催する。

① 開催方法 第1～4講座：オンラインと長水教育会館参集のハイブリッド開催  
第5～9講座：現地での臨地講習

演劇の夕べ：長野市芸術館アクトスペース

② 内容 7月28日(金) 第1講座(教育)

講師 大阪多様性教育ネットワーク共同代表 土田光子氏

演題「自分を解放するための人権教育～部落問題学習を通して～」

7月28日(金) 第2講座(教育・哲学)

講師 熊本大学教育学部准教授 苫野一徳氏

演題「民主主義の土台としての学校づくり～学校に“対話”の文化を～」

8月1日(火) 第3講座(科学・哲学)

講師 青山学院大学教授 福岡伸一氏

演題「生命を捉えなおす～動的平衡の視点から～」

8月1日(火) 第4講座(芸術・文学)

講師 金子みすゞ記念館館長 矢崎節夫氏

演題「今、こだまするとき～みすゞさんのまなざし～」

7月31日(月) 第5講座(歴史) 長野市南西部方面

- 講師 長野市立博物館協議会会長 宮下健司氏  
 テーマ「善光寺地震跡を訪ねる」
- 7月31日(月)第6講座(哲学)飯綱高原 アソビーバ  
 講師 県立大学グローバルマネジメント学部准教授 馬場智一氏  
 テーマ「哲学ランドアートと哲学対話」
- 7月31日(月)第7講座(自然科学)戸隠方面  
 講師 戸隠地質化石博物館研究員 田辺智隆氏  
 テーマ「戸隠の地層から大地の生い立ちを学ぶ」
- 7月31日(月)第8講座(歴史)松代方面  
 講師 松代文化施設等管理事務所課長補佐 降幡浩樹氏  
 松代文化財ボランティア 徳嵩雄司氏  
 テーマ「松代地区文化財探訪V」
- 7月31日(月)第9講座(自然科学)野尻湖・関川水系方面  
 講師 野尻湖ナウマンゾウ博物館館長 近藤洋一氏  
 テーマ「野尻湖の水はどこへ～野尻湖の持続可能な水利用を考える」
- 7月31日(月)演劇の夕べ 長野市芸術館アクトスペース  
 出演者 俳優 水澤心吾氏  
 テーマ「決断 命のビザ～SENPO 杉原千畝物語(一人芝居)」

(5) 教育懇談会

長野上水内出身・在職の先生方が一堂に会し、講演や懇談を通して学び合い、県下各地の情報を交換し親睦を深め合う機会にする。

① 期日 8月5日(土)午前 懇親会 16:00～

② 会場 講演会：長野上水内教育会館からオンライン

懇親会：ホテルメトロポリタン長野

③ 内容 講演 講師：成城中学校・高等学校 前学校長 栗原卯田子氏

演題：「魅力ある学校づくり～公立私立の学校改革の経験から～」

(6) 冬季大学

従来行われてきた研修に加えて、各同好会の研修・講演会等をパッケージとして示すことによって、より多くの会員に参加してもらえるようにする取り組みをさらに進める。

(7) 教師力向上部「共育塾企画運営委員会」企画『共育塾』

青年教師(経験年数の少ない教職員(常勤・非常勤講師を含む))が、悩みを共有したり、中堅教師に学んだりする場とする。また、ミドルリーダーが研修講座を企画運営したりすることによって、教師としての力量を高め互いの絆を深める。冬季大学期間中も含め複数回実施。

(8) 教師力向上部「Edカフェ長水」(エデュケーションオンラインカフェ長野上水内)

中堅・中核教員が年間を通じて中心講師から学び、互いの教育観を語り合い、深め合うことを通して、力量を高め、互いの絆を深める機会とする。

中心講師：埼玉大学教授 岩川直樹氏 信濃教育会会長 武田育夫氏

(9) 哲学対話

合併前の上水内教育会、長野市教育会では、西田幾多郎、高坂正顕、西谷啓治、片岡仁志、上田閑照、岡田勝明等、蒼々たる京都学派の哲学者から学び続けてき

た。本講演会を長野上水内教育会として継承し、さらに若い教職員が哲学を学ぶ気風を高めるため、今年度より梶谷真司先生を講師にお迎えして、哲学対話を通して教育実践者としての自らの見方・考え方を深め広げる機会とする。

- ① 期日 2月17日(土)午後
- ② 会場 長野上水内教育会館参集およびオンライン
- ③ 内容 講演 講師：東京大学大学院教授 梶谷真司氏  
演題：「学びと哲学対話」

### 3 研修助成事業

研修に対する補助金は、会員の主体的な活動で、その研究活動、研究内容が十分に意義あるものと認められるものに交付し、その充実と活性化に努める。また、その研究内容を多数の会員または一般の方に発表できるよう取り組む。

#### (1) 研修派遣

個人の資質向上のため研修派遣を行う。

日本連合教育会研究大会 8月17日(木)～18日(金) 山口大会  
信濃教育会総集会 7月1日(土) 更埴大会  
信州教育の日 11月18日(土) 宮田大会

#### (2) 研修補助

- ① 個人・グループ研修補助 60名程度(前期50名後期10名) 3万円
- ② 個人・団体視察派遣(県内外)
- ③ 同好会補助
  - 補助金額 2万円+所属長野上水内教育会 会員数×1名 1,200円
- ④ 同好会等県大会補助
  - 1大会3万円以内
  - 本教育会地域内での実施、本教育会後援、主催団体としての該当同好会

#### (3) 支会活動補助

支会活動の意義等の共通理解を深め、各支会の独自性を持った活動の充実と小中連携、会員の資質向上に努める。支会連絡会を行い、それぞれの特色を生かした活動について情報交換するとともに、支会のあり方や問題点について検討する。

- 支会研修補助額 10万円+250円×長野上水内教育会所属会員数
- 支会講演会補助 3万円

#### (4) 教育研究団体等補助

- ① 科学展・図工美術展・書写書道展の運営及び補助を行う。
- ② 教育懇談会の運営及び補助

#### (5) 研究報告書の発行

- ① 個人研修や視察派遣、同好会の研修を研究報告書にまとめ各校に配付する。

#### (6) 同好会活動の活性化

- ① 同好会の総会の日時・場所等を集約し、会員に周知する。
- ② 総集会開催時のプレゼンテーションの募集・調整・連絡等を行う。同好会活動をPRするとともに、同好会員を募る場とする。
- ③ 会誌誌面にて活動紹介・報告をする。
- ④ 同好会の研修や講演会等の情報を、HPを通じて会員に周知する。
- ⑤ 各同好会実務担当者と教育会との連携を図るため、同好会実務担当者会議を

設ける。

- ⑥「わくわくリーダーズながの」を同好会の協力のもとで実施することを通して、同好会との連携を深める。

#### 4 教育図書研究調査事業

委員会を組織して地域に関する調査をし、その成果を地図(長野市・上水内郡)、資料集(わたくしたちの郷土)、教材データベース(HP)としてまとめ、授業への活用を図る。組織する委員会は特別企画部内の3委員会とする。

- ①地図作成 ②教材データベース ③社会科資料作成

#### 5 生涯学習支援事業

##### (1) 施設貸与

教育会会員など教師で構成する教育研究団体、一般教育研究団体、公益を目的とした児童・生徒及び地域住民に教育会館の会議室等を貸与する。貸与規程については各々に定める。

- ① 施設を貸与する会館は次の通りとする。  
○長野上水内教育会館 ○更級教育館
- ② 実施内容は次の通りとする。  
○会員、教職員の会議、研究会、企画展等の貸与  
○一般地域住民への貸与

##### (2) 地域・起業・関係団体との連携

講演講習事業の参加乗り入れなど、県シニア大学、退職校長会、郡市PTA連合会、賛助会等と連携を深める。

##### (3) 他団体との共催事業

- ① 生徒会サミット(中学校長会との共催)  
8月26日(土)長野上水内教育会館参集 2月7日(水)オンライン
- ② わくわくリーダーズながの(長野市教育委員会と共催) 年6回

### III 管理・運営のための諸会合等

#### 1 会員

長野市及び上水内郡に所在する学校の教職員並びに教育関係機関職員で、この法人の目的及び事業に賛同し、入会した者をもって組織し、定款に基づいてその目的達成に向け事業を行う。

#### 2 代議員の選出

会員を代表し、毎年4月実施の会員による選挙で各校1名の代議員を選出する。

#### 3 役員・機関の職務及び権限の概要

##### (1) 総会

- ① 代議員によって構成する。  
② 事業年度終了後3ヶ月以内に1回、本会の業務及び財産の執行に関し審議する。  
③ 他に必要がある場合には定款に基づいて総会を開催する。

- (2) 監事会
  - ① 支会ごとに監事候補者を選定し、総会の決議により選任し3名以内で構成する。
  - ② 本会の業務執行及び財産の状況を監査しその健全性を維持する。
- (3) 理事会
  - ① 支会ごとに理事候補者を選定し、総会の決議により選任し、3名以上11名以内で構成する。
  - ② 理事の中から会長1名副会長2名を理事会の決議により選定し、会長は代表理事、副会長は業務執行理事として本会の目的達成のため代表して業務にあたる。
  - ③ 理事会は、本会事業推進のため幹事会・常任委員会を設置し、業務執行原案等の作成・検討、各担当部署との連携・執行にあたる。また、必要に応じて他の委員会を設置することができる。
- (4) 常任委員会
  - ① 支会ごとに常任委員候補者を選定し、総会の決議により選任する。
  - ② 本会事業推進のため、年8回程度開催し、業務執行の検討、業務指導等、その執行にあたる。
- (5) 幹事会
  - ① 理事会の決議により幹事候補者を選任し、会長が委嘱する。
  - ② 本会事業推進のため、年12回程度開催する。業務執行原案の作成・検討をし、各部署との連携をして執行にあたる。
- (6) あり方委員会
  - ① 理事会の決議により委員候補者を選任し、会長が委嘱する。
  - ② 長野上水内教育会の今後のあり方、会館維持等の課題等を協議する。

#### 4 諸会合の予定

- (1) 会計監査【長野上水内教育会館】 4月6日(木)
- (2) 総会【Zoomによるオンライン】
  - ① 4月14日(金) ② 5月1日(月) ③ 6月20日(火) ④ 1月26日(金)
  - ⑤ 2月27日(火)
- (3) 理事会【長野上水内教育会館】
  - ① 4月14日(金) ② 4月20日(木) ③ 4月27日(木) ④ 6月13日(火)
  - ⑤ 6月29日(木) ⑥ 9月7日(木) ⑦10月12日(木) ⑧11月17日(金)
  - ⑨ 1月12日(金) ⑩ 2月15日(木)
- (4) 常任委員会【長野上水内教育会館】
  - ① 4月20日(木) ② 4月27日(木) ③ 6月13日(火) ④ 6月29日(木)
  - ⑤ 9月7日(木) ⑥10月12日(木) ⑦11月17日(金) ⑧ 1月12日(金)
  - ⑨ 2月15日(木)
- (5) 幹事会【長野上水内教育会館】
  - ① 4月14日(金) ② 4月20日(木) ③ 4月27日(木) ④ 6月13日(火)
  - ⑤ 6月29日(木) ⑥ 9月7日(木) ⑦10月12日(木) ⑧11月17日(金)
  - ⑨12月8日(金) ⑩ 1月12日(金) ⑪ 2月15日(木) ⑫ 3月25日(月)
- (6) 支会連絡会【長野上水内教育会館】
  - ① 6月13日(火) ② 2月15日(木)

(7) 研究委員会

- ① 世話係会 5月 2日(火) ② 総委員会 5月11日(木) オンラインで開催
  - ③ 研究委員長会 5月30日(火) 10月23日(月) 2月 9日(金)
  - ④ 各委員会は総委員会時での年間計画による。
- (8) 同好会(研究会)実務担当者会議 2月2日(金)

5 広報

- (1) 委員7名程度で会誌編集委員会を組織し、会員の声を生かしつつ、学術資料として、また機関誌としての情報の提供や教育研究資料の累積、会員の資質向上等を願って年間1号の会誌を編集・刊行する。本会及び7つの支会の事業内容をはじめ、教育活動・研修活動・報告・意見・教育理念等、教育会の機関誌として親しみやすい編集を心がける。
- (2) 委員7名程度で会報編集委員会を組織し、年間3号を発行する。
- (3) 本会の活動内容を広報するためにHPを作成し、適宜更新する。そのためにデジタル広報委員会を設置。内容の検討を行い、充実を図る。
- (4) 特別企画部の各委員会との連絡・調整・支援を行う。
  - ① 会誌・会報については、会員の期待に応えられるように内容を検討する。
  - ② 発行にあたっては、ゲラ刷りの段階で全原稿を以下の流れで点検する。  
各委員会委員長→世話係→担当幹事→事務局→幹事長→会長  
年度当初の委員長会・総委員会で世話係校長・教頭・委員長・委員へ周知する。

令和5年度 更正収支予算書概要 R5.5.1 第2回総会で承認済み

科目	内容	予算額 (円)	
経常収益A	受取会費	会費 (1400人)	31,997,600
	事業収益	会館使用料 印税等	660,000
	受取補助金	更級教育館維持管理 市町村教委等	2,124,000
	受取負担金	雑誌取扱手数料	150,000
	雑収益	預金利子 電柱敷地使用料等	75,000
	経常収益合計		35,006,600
経常費用B	研究調査費	研究委員会旅費 諸謝金 賃借料 等	1,004,000
	講演講習会費	夏季大学 総集会 哲学講演会 等	3,107,000
	研修助成費	個人グループ研修補助 同好会補助等	6,532,000
	会誌等発行費	会誌 研修報告書 沿革史 等	1,354,000
	教育図書研究調査費	社会科資料等 委員会旅費	175,500
	事業共通費	事務局給料手当 退職給付引当金 会議旅費 減価償却費 備品費 消耗品費 修繕費 委託費 高熱水道諸費 租税公課 保険料 賃借料 等	12,625,917
	管理費	会議費 会報発行費 事務費 等	11,516,457
経常費用合計		36,314,874	
財産額	当期経常増減額	A-B = 当期一般正味財産増減額	△1,308,274
	一般正味財産期首残高		209,975,926
	一般正味財産期末残高		208,667,652

【参考】令和4年度同好会一覧

	同好会・研究会名	テーマ
1	長野上水内国語教育研究会	言語活動を効果的に取り入れ考える力を育む国語学習のあり方～言葉による見方・考え方を働かせて、考え繋げて表現するために～
2	長野上水内社会科教育研究会	共に生きる見方・考え方が育つ社会科学習はどうあったらよいか
3	長野上水内算数数学教育研究会	数学的に考える力を伸ばし、主体的・対話的で深い学びにつながる算数・数学的活動のあり方
4	長野上水内理科教育研究会	自然を主体的に探究する力を育てる理科学習
5	長野上水内英語同好会	友と関わり合いながらコミュニケーション能力を高める子ども
6	長野上水内音楽教育同好会	児童・生徒の実態に即した音楽指導のあり方
7	長野上水内体育学習指導研究会	すべての子どもが夢中になり、健康で豊かなスポーツライフの実現をめざす体育学習の創造 ～「わかる」「できる」「かかわる」楽しみの深化と普及～
8	長野上水内技術・家庭科教育研究会	一人一人が自ら拓く技術・家庭科の学習はどうあったらよいか
9	長野上水内道徳教育学会	考え、議論することを通してよりよく生きるための自覚を深めていく道徳の授業のあり方
10	長野上水内総合生活科教育研究会	自立を育む総合・生活科の創造
11	道元の心に学ぶ会	とらわれない生き方を学び、教師としての資質を高める
12	長野上水内教育カウンセリング・集団づくり同好会	予防・開発的カウンセリングを用いた学級集団づくり
13	長野上水内書写書道教育研究会	古典に基づいた書技能の習得・調和の取れた書表現と書写書道教育の望ましいあり方の究明
14	長野上水内哲学同好会	教師としての資質を高めるには、どうしたらよいか ～哲学書の読み合わせを通して～
15	長野上水内美術教育研究会	新しい時代に生きる子どもたちに豊かな美意識を育てるためにはどうしたらよいか
16	小学校管楽器教育研究会	子どもたちの表現意欲を高める管楽器の指導法とバンド運営
17	長野上水内幼年教育研究会	語ろう・知ろう・感じよう 接続期の子どもたち
18	長野上水内視覚障がい教育研究会	見え方に配慮を要する児童・生徒への教育的支援のあり方
19	子どもの学びの質を考える会	子ども一人一人の学びの深まりを志向する授業づくり ～「その子の今」から、「その子の育ち」を考える～
20	長野上水内FR教育研究会	不登校を減らしたり、予防したりする具体的な対応はどうあったらよいか
21	長野上水内 掃除に学ぶ同好会	清掃を通して、教師としての自己のあり方を見つめ直す